

整理番号	HT28171	分野	地学、生物	(キーワード)地球科学、フィールド体験
------	---------	----	-------	---------------------

## 名古屋大学

### 鍾乳洞の正体をあばこう！

先生(代表者)	藤原 慎一(ふじわら しんいち) 名古屋大学博物館・助教				
自己紹介	動物の体のカタチと、その動物がもつ運動機能の関係を探る「機能形態学」という分野を専門にしています。現在生きている動物の骨のカタチと機能の関係を調べることで、恐竜など絶滅した動物が生きていたときの姿を復元することを試みています。				
開催日時・ 主な募集対象	平成 28 年 8 月 27 日(土) ・8 月 28 日(日)	(対象)	小学校 5 年～ 高校 3 年生	(人数)	20 名
集合場所・時間	名古屋大学博物館	(集合時間)	27 日、13:00 28 日、9:00		
開催会場	名古屋大学博物館 住所: 〒464-8601 名古屋市千種区不老町(地下鉄名城線「名古屋大学」駅) アクセスマップ: <a href="http://www.num.nagoya-u.ac.jp/information/access.html">http://www.num.nagoya-u.ac.jp/information/access.html</a>				
<b>内 容</b>					
鍾乳洞のひんやりした暗く神秘的な光景はどのようにしてできるのだろうか？ 鍾乳洞に棲むコウモリはどれぐらい特殊な適応をしているのだろうか？ こうした疑問は、普通の観光で鍾乳洞を訪れるだけでは分かりません。本企画では、実験・観察を通じて鍾乳洞のでき方やそこに棲む動物の適応について学び、そして実際に鍾乳洞の奥深くに入って鍾乳石やコウモリたちを見にいけます。					
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>		
<b>1 日目(8 月 27 日)</b> 13:00 受付(名古屋大学博物館 集合) 13:30 自己紹介・科研費の説明 14:00 講義(鍾乳洞と石灰岩、サンゴ、コウモリ) 15:00 実験(石灰岩でスタンプづくり・鍾乳石とトラバーチンの観察) 16:00 解散			8 月 27 日 筆記用具 8 月 28 日 昼食、飲み物、着替え(洞窟探検で汚れるため)		
<b>2 日目(8 月 28 日)</b> 9:00 集合(名古屋大学博物館)・バスで出発 11:00 郡上八幡 美山鍾乳洞到着 12:00 鍾乳洞探検 15:45 美山鍾乳洞からバスで出発(アンケート・修了式) 17:45 名古屋大学博物館到着・未来博士号授与 18:00 解散			<b>特 記 事 項</b>		
			2日セットでの参加です。申込み方法:往復はがきに①イベント名 ②郵便番号・住所・電話番号・Eメールアドレス ③参加者全員(保護者の方も含む)の氏名(ふりがな)・性別・年齢(学年) ④参加者全員の身長、体重、靴サイズ(洞窟探検用の作業服や靴の準備のため) ⑤この企画を知った方法、を記入して、返信側に返信用の宛名を書いて、申し込み先までお送りください。 <u>なお、小学生の参加者は必ず保護者同伴でご参加ください。保護者の方は、参加費が5000円かかります。</u>		

《お問合せ・お申込先》

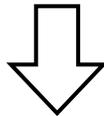
所属・氏名：	名古屋大学博物館事務
住所：	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館
TEL 番号：	052-789-5767
FAX 番号：	052-789-5896
E-mail：	earth@num.nagoya-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年8月15日(月)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、8月20日(土)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
藤原 慎一	H25~27	若手研究(B)	25870305	四肢動物の肩帯の運動機能 適応の進化



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。